

[CONTENTS]	ピックアップ！	1 面	学生団体活動報告①	1 面	2025 年度前期活動報告	2 ～ 4 面
	学生団体活動報告②	4 面	地域志向取組一覧	5 面	成果発表会取組一覧	6 面
	学生団体活動報告③	7 面	その他情報	8 面		

PICK UP! 前期成果発表会開催！

令和7年7月17日(木)、18日(金)の2日間にわたり、前期成果発表会を開催しました。各ゼミや学生団体など6団体がこれまでに取り組んできた活動について、スライドを用いた口頭発表や事前収録した映像にて、その成果を報告しました。また発表スライドを抜粋したポスターを7月30日(水)まで掲示しました。

参加者からは「どの団体も地域に密着していて課題解決への意識がとて高く、後の世代にも残して欲しい活動だと感じました」「今日まで知らなかった地域協働授業が多く、それをどのように学生や地域の人に向けて発信できるかが課題だと思った」などの声が寄せられました。(一覧は6面へ)



PICK UP! いみず学生アイデアコンテストにて表彰独占！

射水市では、市の伴走支援を受けながら学生自ら企画・提案・実践に取り組み、市の抱える地域課題の解決を目指す「いみず学生アイデアコンテスト」を開催しています。書類審査を通過した6組による最終審査が6月29日に行われ、本学の学生3組が優秀賞に選ばれ、表彰を独占する結果となりました。受賞した3組は、その後、提案した内容の実証実験に取り組みました。



受賞テーマ：「ペットとつくる小杉の賑わいと共生のかたち」石黒詩歩／「ワクワク!海老江海浜公園ビーチクリーン大作戦」地域協働研究会 COCOS／「内発的学び循環で未来を拓く実践型わくわくプログラミング教室」Engine



COCOS 活動報告①

太閤山アスレチック

4月13日に太閤山ランドにオープンしたアドベンチャーガーデン射水では、豊かな森の地形を活かしたアスレチックを体験することが出来ます。COCOSは、太閤山ランドを盛り上げるために、昨年度からアドベンチャーガーデンとの協働を進めてきました。その活動として、太閤山ランドで実施されている「県民公園太閤山ランドにぎわいプラン助成事業」を利用して、フォトコンテスト・アスレチック体験会・クイズラリーの3つを行うイベントの開催を企画しました。



7月25日～8月31日に開催したフォトコンテストは、アスレチック体験時の写真や動画をSNSに投稿してもらい、景品にはアドベンチャーガーデン射水の年間パスや富山県立大学射水キャンパスの近くにあるcafeしえるのランチセット無料券などを用意し、魅力的なイベントになるように工夫しました。また、8月18日に実施したアスレチック体験会では、参加者に割引特典を提供したほか、写真撮影のサポートなども行い、地域の方々と交流する機会となりました。8月19日～8月24日に開催したクイズラリーは、アスレチックやジップラインのコースに文字が書かれた看板を設置し、文字を並び変えて言葉を作るという内容で、140名の方が参加し、アスレチックとともに楽しんでもらえる企画となりました。これらの企画それぞれに対し、Instagramでの宣伝、地域施設でのポスター設置など、広報活動にも力を入れました。活動を通して、太閤山ランドの魅力を多くの方に届けることができました。

2025 年度前期活動報告

スポーツ・被災・若年女性の地方からの流出ー権利基盤型アプローチ (RBA) で考えるー

中村秀プレゼンテーション演習

中村プレゼンテーション演習では、未成年のサッカー選手の権利や能登半島地震の復興支援、及び富山県内の若年女性の県外流出について、人権を守るために協力して行う方法である権利基盤型アプローチ (RBA) を用いて課題を分析しました。未成年のサッカー選手の権利では選手の意思の尊重や制度の改善を提案、能登半島地震の復興支援では被災者の権利の周知やニーズに合わせた支援を提案、富山県内の若年女性の県外流出では性別役割意識を解消するための一般県民、行政、企業の対話の促進と若年女性の権利を前提とした定着促進制度の構築を提案しました。

この活動を通して、RBA を用いて政策や制度を再検討することの重要性を知ることができました。



地域と大学の協働によるプログラミング教育支援 岩井プレゼンテーション演習

岩井プレゼンテーション演習では、射水市内の小学校を対象にプログラミング教育の支援を行い、ドローンを活用した授業を実施しました。教育現場では指導者不足などの課題があります。そこで本活動では指導者が少ない現場でも対応できるように事前に視聴できる説明動画やドローンの飛行ルール・プログラミング手順を視覚的に示す説明パネルを用意し、児童が内容を理解しやすい授業を工夫しました。授業後のアンケートでは、多くの児童がプログラミングに強い関心を示し、より複雑な内容にも挑戦したいという意欲が見られました。今後は、事前動画の内容をさらに充実させ、ドローンの飛行映像を追加するなど教材の魅力向上を検討しています。



地域で学ぶフィールドワークの様子①



【庄川】



【四季防災館】



【立山】

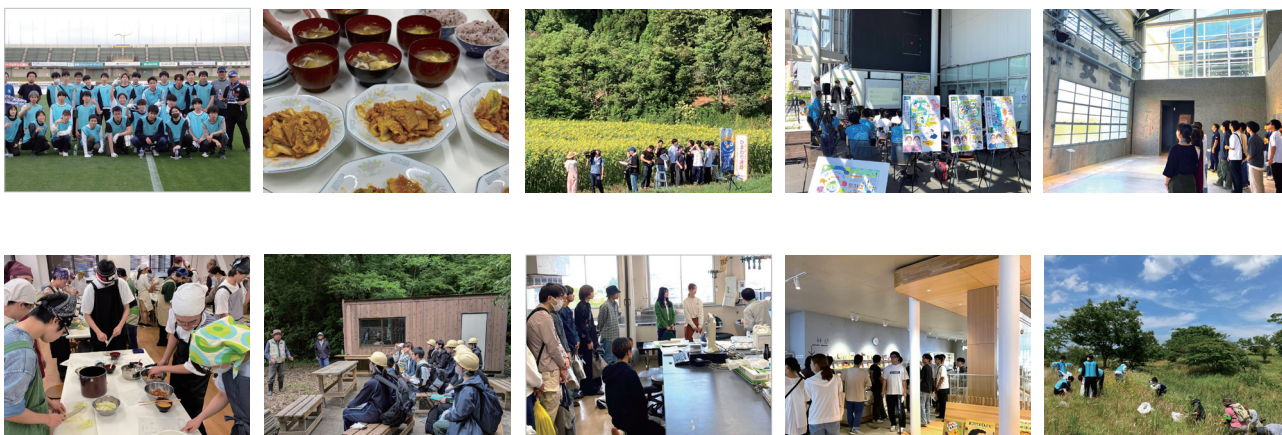
地域協働研究会 COCOS とは

地域協働研究会 COCOS とは 2014 年 4 月に県立大が設置した学生団体です。COCOS の名前の由来は COC (Center Of Community : 地 (知) の拠点 ※) と OS (Operating System : 基盤) で、大学が進める地域協働の学生の主体として活動しています。地域の課題解決、魅力の発見、PR を行うため、地域の方々と対話や交流を重ねながら一緒に活動し、一緒に地域を盛り上げようとしています。

学内では、成果発表会の運営や地域協働の授業や取り組みを支援する COCTA (Teaching Assistant) も担っています。

※ 2013 年から本学が採択された文部科学省による「地 (知) の拠点整備事業 = COC 事業」より





電子部品の製作コスト削減と品質向上の両立 田縁トピックゼミ

田縁トピックゼミでは、電子部品製作におけるコスト削減と品質向上の両立を課題とし、その解決策を提案しました。富山県内の企業訪問では、新技術の導入や検査工程の工夫、海外拠点の設置などについて学習し、それぞれの目的と実施内容を詳しくまとめました。課題解決策としては、新技術を活用して人件費や不良品を減らし、人為的ミスを防ぐこと、さらに海外拠点で部品を現地調達して費用を抑えることを提案しました。これらにより、品質を保ちながらコスト削減を実現できると考えました。今回のゼミ活動を通じて、企業が顧客のニーズに応えるために、コストと品質向上の両面で工夫を重ねていることがわかりました。



県内企業と連携したものづくりの魅力発信イベントの企画運営 リ・碓井教養ゼミⅠ

リ・碓井教養ゼミⅠでは、富山のものづくりの魅力を発信することを目的に、県内中小企業（製造業）7社が工場見学や体験型ワークショップを実施する「トミファ オープンファクトリー」の企画運営に参画しました。4月に各グループに分かれ、ブース出展する企業の担当者とアイデア出しのグループワークを行い、5月から7月にかけて、それぞれ工場を数回見学しました。それらをふまえた中間発表会にて提案した内容を、その後も協議を重ねて準備を進め、8月3日のイベント当日には、企業紹介・体験等に加えて全体の運営にも関わりました。4日間で900名を超える参加があり、自分たちが準備してきた企画を、子どもから大人まで幅広く届けることができました。



地元飲食店の弁当 新入生に向けて販売



4月7日に行われた本学の入学式において、大学生協と2つの学生団体（Engineと地域協働研究会 COCOS）が連携し、新入生に向けて、地元の飲食店を知ってもらうことを目的に、各店と協力した弁当販売を実施しました。この取り組みは昨年度からはじまり、今回で2回目となります。春先から各店舗との調整を進め、初回だった前回の反省を活かし、価格や注文方法、当日の決済手段も含め、受け渡しがスムーズに行われるようにメンバーで工夫を重ねました。6店舗合計で170食ほどを販売し、新入生も新しい生活に向けて地域の味を堪能することができました。

ひまわりサークルの今期の活動 ひまわりサークル

ひまわりサークルは毎年、女子ハンドボールチーム「アランマーレ富山」と協働し、地域の方々が楽しめるひまわり迷路を作成しています。昨年のひまわり迷路の反省として、ひまわりが十分に咲かなかった点がありました。そのため、今年はひまわりの種が腐る原因と考えられた溝の掃除や外来種の駆除、ひまわりの品種を「ロシアひまわり」から「ハイブリッドサンフラワー」に変更するなどの対策を行いました。また、今年のひまわり迷路は射水市制 20 周年を記念し、市のキャラクタームズムズくんをかたどったデザインを採用しました。スタンプラリーやフォトスポットも用意され、参加者がより一層楽しめるひまわり迷路となりました。



POLYGON の地域協働活動 学生団体 POLYGON

POLYGON は、専門知識や高度なデジタル技術を持つ人材の育成を目的とした学生団体であり、企業や地域と協働しながら社会問題の解決に取り組んでいます。

POLYGON は、主に 2 つの活動を行いました。まず、プログラミングスクールにメンターとして参加し、企画運営や学生のサポートを担当しました。参加したメンバーからは「昨年の作品よりレベルアップできた」や「身近な問題について考えるようになった」などの意見が寄せられました。次に、富山未来ハッカソンに POLYGON から 2 チームが参加しました。「くらし」×「若者」×「マイナンバーカード」をテーマに WEB アプリの開発に取り組み、準優秀賞と技術賞を受賞しました。



これらの活動を通じて得られるチームでの開発や発表の経験を POLYGON では大切にしています。



COCOS 活動報告②

いみず学生アイデアコンテスト

COCOS は昨年度に引き続き、射水市が開催する「いみず学生アイデアコンテスト」に参加しました。「いみず学生アイデアコンテスト」とは、学生が市の伴走支援を受けながら、射水市が抱える地域課題の解決を目指す事業です。今年度は、「海老江海浜公園を『未来の海辺の遊び場』に!」というテーマを選択し、公園をより魅力的な場所にするための企画を提案しました。一次審査を通過後、6 月 28 日・29 日に行われたアイデアソンに参加し、1 泊 2 日の合宿を通して、学生起業家のアドバイスを受けて、アイデアのブラッシュアップを行いました。アイデアソンの最終プログラムとして行われたプレゼンテーション審査会では、私たちの企画が評価され、優秀賞を受賞することができました。



その後、市の補助金を使い準備を進め、8 月 9 日・10 日に実証実験を行いました。実証実験では、ビーチクリーンの開催、アクアリウムを作るワークショップの実施、遊び心のあるゴミ箱の設置を行い、その有用性や子供たちがどれくらい公園に興味を持ち楽しんでくれるかを検証しました。2 日目の天気予報が悪かったことから、1 日目に予定していたビーチクリーンやワークショップの実施時間を延長するなど、臨機応変に予定を調整しました。その分、多くの方に楽しんでもらい、公園の魅力を伝えることができました。今後は、実証実験で得られた成果や課題を踏まえて、最終発表に向けて活動を進めていきます。

令和7年度 地域志向教育プログラム・ 学生自主プロジェクト・地域志向研究 採択一覧

本学では、学生が地域と主体的に関わり、地域課題解決や学生自身の成長が遂げられる活動を推進すべく教員、学生による取り組みの支援を行っています。教育・研究・学生自主プロジェクトの3枠で学内公募し、採択結果は下記の通りになりました。

〇地域志向教育プログラム

テーマ	代表教員
「実践力養成！地域連携プロジェクト」①富山オープンファクトリー ②キャリア教育「自分の未来象」～小学6年生とコラボ～ ③楽しいゲームで身近な科学を考えよう～富山県立大学生による出張講座～	教養教育センター 講師 リ オリガ
クリスマスマーケット in TOYAMA	教養教育センター 准教授 金城 朱美
情報・科学分野への学びの意欲及び就学意識定着を目指した 視覚障がい者を対象とする科学体験教室	データサイエンス学科 教授 本吉 達郎
センシング技術を用いた丘陵地区の魅力要因分析と 新たな情報システムの開発	情報システム工学科 講師 西原 功
富山市ファミリーパークにおける動物教育プログラムに向けた取り組み	情報システム工学科 教授 中田 崇行
反転授業を利用した半導体・センサ・ロボット技術に関する 協同的授業プログラム	知能ロボット工学科 准教授 水野 斎
富山で公共政策のさらなる発展を考える： 人間中心の政策形成を補助する AI の可能性と射水市の防災強化	環境・社会基盤工学科 准教授 中村 秀規
地域と大学の協働によるプログラミング教育支援 (子どもたちの理解を深める動画教材と新しいツールの活用)	知能ロボット工学科 教授 岩井 学

〇学生自主プロジェクト

テーマ	学生団体・代表者
つながる心、ひろがる笑顔～看護学生とつくるあたたかなふれあいの時間～	ナーシングフレンズ 看護学科 3年 平野 佐季
海老江海浜公園を「未来の遊び場」に！	地域協働研究会 COCOS 機械システム工学科 3年 宮下 晶一
“はたらく”っておもしろい！ ～こどもたちに夢と挑戦のきっかけを提供する 仕事体験×キャリア教育プログラム～	C-hub 電子・情報工学専攻 1年 齊藤 光汰
天文部の活動における市民との交流のための プラネタリウムドームの新規作成	天文部 環境・社会基盤工学科 3年 萱沼 友祐

〇地域志向研究

研究課題	代表教員
伝統的酒造りと無形文化遺産ー日本の民俗、酒と文化	教養教育センター 准教授 金城 朱美
人間と連携する複数台ドローンの半自律移動システムに関する研究	電気電子工学科 助教 阿久津 慧
小矢部市中山間部における廃校校舎を利用した大気環境観測 2025 ー北陸地方の大気環境の変遷とその原因究明ー	環境・社会基盤工学科 教授 渡辺 幸一
データ駆動に基づく交通事故の分析・予測システムを用いた警察活動支援	データサイエンス学科 教授 榊原 一紀

令和7年度前期 地域協働授業成果発表会

令和7年7月17日(木)、18日(金)に6団体が口頭発表形式で成果発表を行いました。本学学生、教員、地域の関係者など2日間で120名ほどの参加がありました。

令和7年度前期 富山県立大学
地域協働授業成果発表会

▶ 開催日時
7月17日(木) 13:10~14:40
7月18日(金) 14:50~16:20

▶ 開催場所
富山県立大学 射水キャンパス
中央棟 大講義室

▶ ポスター展示期間
7月17日(木) ~ 7月30日(水)

▶ ポスター展示場所
中央棟 1階 アカデミックモール

お問い合わせ
公立大学法人 富山県立大学 地域協働支援室
〒931-8505 富山県射水市中央1-180
TEL: 0766-56-7500 (内線1255) FAX: 0766-56-8022
MAIL: kyocho@fuji-u.ac.jp URL: https://fuji-u.ac.jp



【第1日目】7月17日(木) 13:10~14:40

- ①「富山で権利基盤型アプローチを考える」
プレゼンテーション演習(環境・社会基盤工学科 中村秀規 准教授)
- ②「地域と大学の協働によるプログラミング教育支援」
プレゼンテーション演習(知能ロボット工学科 岩井学 教授)
- ③「POLYGONによる地域協働活動の報告」
学生団体 POLYGON
- ④「ひまわりサークルの活動」
ひまわりサークル
- ⑤「COCOSの活動報告」
地域協働研究会 COCOS

【第2日目】7月18日(金) 14:50~16:20

- ①「電子部品のコスト削減と品質向上の両立
~グローバル・ニッポン~」
トピックゼミ(電気電子工学科 田縁俊光 准教授)
- ②「地域と大学の協働によるプログラミング教育支援」
プレゼンテーション演習(知能ロボット工学科 岩井学 教授)
- ③「POLYGONによる地域協働活動の報告」
学生団体 POLYGON
- ④「ひまわりサークルの活動」
ひまわりサークル
- ⑤「COCOSの活動報告」
地域協働研究会 COCOS

地域で学ぶフィールドワークの様子②



【穴水(能里の池)】



【カターレ富山】



【里山(射水市金山)】



COCOS 活動報告③

Cafe しえる



Cafe しえるは、富山県立大学射水キャンパスの近くにある、障がいを持つ方々とスタッフが一緒に働いているカフェです。COCOS は例年通り、Cafe しえるを盛り上げるために協働し、前期の取り組みとして、6 月 24 日に学内で定期的に行っている弁当販売を開催しました。これは、Cafe しえるについて多くの人に知ってもらうことを目的としており、弁当・スイーツ計 9 種類を販売しました。今回は、例年行っている学内メールや Instagram での宣伝に加えて、より積極的な広報活動をしました。その結果、販売開始からわずか 30 分ほどで完売したため、広報活動の効果が確実に表れたと感じています。

今後も、学生ならではの視点やアイデアを活かし、学外でも弁当販売を行ったり、Cafe しえるが主催するイベントへ参加したりするなど、より一層関わりを深めて様々な活動を行っていきたいと考えています。

電動キックボード

現在、射水市太閤山地区リノベーション計画の課題の 1 つである「地域交通の維持・充実」に対して、手軽な移動手段として電動キックボードの実証実験が行われています。実証実験の一環として、期間中には中太閤山・南太閤山コミュニティセンターで電動キックボードの安全講習会が実施されています。COCOS は、この実証実験に広報面から参画し、楽しく安全な利用を促進するために Instagram を用いた宣伝などを行いました。

また、学生が気軽に講習会に参加できる機会をつくることを目的に、7 月 1 日・2 日に学内での安全講習会を企画・開催しました。コミュニティセンターでの講習会と同様に、参加者は電動キックボードを利用する際の基本料金が無料になるため、その特典を生かした宣伝を行いました。講習会では、交通ルールの動画の視聴や試乗に加え、新たなポート設置場所のアンケートにも回答してもらいました。20 名以上の方が参加して、電動キックボードの正しい使い方や実証実験について知ってもらうことができました。今後も、学生がルールを守れる仕組みづくりを考え SNS を用いたルールの呼びかけなどを行っていきます。



流域ぷらっとフォーラム



行政・住民や多様な関係者・科学者が共創する研究プロジェクトから生まれた「(一社)流域ぷらっとフォーラム」主催の取り組みとして、暮らしに深く関わる「流域」について、楽しく気軽に学べるイベント「流域ぷらっとフォーラム 2025」が 7 月 26 日に開催されました。この一環として実施された「わかもの流域自慢コンテスト」へ、本学からは地域協働研究会 COCOS が参加し、海老江海岸での取り組みについて紹介しました。

サークル紹介 ナーシングフレンズ

私たちナーシングフレンズは、看護学生として、県内外における医療福祉のニーズを抱える方々への支援の実践を活動目的とするボランティアサークルです。設立から2年目となりますが、これまでに小児から老年まで、様々な領域のボランティア活動を行ってきました。

具体的には、老人保健施設でのイベント運営のサポートや、障がいのあるお子さまとそのきょうだい児を対象としたイベントでの支援、また、保護者の方々が交流されている間のお子さまの見守り活動などを行っています。また、活動の中で地域の専門職の方々から直接お話を伺う機会もあり、地域が抱える課題や支援の実際を知る貴重な学びの場となっています。こうした実践を通して、私たちは地域に潜在する課題や、看護学生としてできることを考え、経験をもって学びを深めています。依頼先から感謝の言葉をいただくことも多く、日々の活動の励みになっています。

今後も、継続的な支援に加え新たな分野への挑戦をすることで、地域とのつながりをさらに広げ深めていきたいと考えています。



ご依頼などはこちら

黒部フィールドワーク [by ひまわりサークル]

黒部市前山地区を中心に中山間地域の盛り上げを目指す「黒部ファーストペンギンプロジェクト」では、休耕田をひまわり畑に活用し、地域資源として、賑わいを生むコンテンツづくりに取り組んでいます。その一環として、今年度から「くろべ牧場まきばの風」のひまわり畑を舞台に、本学ひまわりサークルと協働した迷路作りが行われました。サークルとしては、学外での初めての迷路づくりとなりました。当日は、農業用機械を用いながら通路を整備したり、ドローンで空中撮影しながらデザインの微調整をしたり、学内での作業とは違う経験を得ることが



できました。

迷路整備作業後は、バター作り体験、牧場の恵みを味わう昼食、動物との触れ合いなど、牧場を堪能し、午後からは市内を巡るフィールドワークを行いました。一昨年にオープンしたくろべ市民交流センター「あおーよ」では、施設見学のあと、黒部の地域課題に関するワークショップを行い、その後「YKK AP 技術館」の見学、宇奈月温泉での入浴と、市内の地域資源を堪能しながら学ぶ1日となりました。

編集後記

CBL ニュース Vol.18 をお読みいただき、ありがとうございました。編集を担当したCOCOSのハナグラシアです。各記事をまとめることを通じて、この大学には地域のつながりがこんなにも多くあることに驚かされました。これからさまざまな活動する学生、教員の姿を発信していきます。私たちCOCOSをはじめ、多くの学生、教職員と地域のみなさんの関わりの魅力がこの紙面全体から少しでも伝われば嬉しいと思います。

公立大学法人富山県立大学 地域協働支援室

<https://tpu-cbl.net>

〒939-0398 富山県射水市黒河 5180

射水キャンパス (中央棟 1 階 N-103)

TEL : 0766-56-7500

E-mail : kyodo@pu-toyama.ac.jp

編集 : 地域協働研究会 COCOS

発行 : 令和 7 年 10 月



CBLnews
バックナンバー

